

2次元表示ビューワー "Image Composer"の紹介:

画像を表示し、RGB合成、モザイク表示、ストレッチング、カレーテーブルなどの編集をおこなうセクションです。

A:「画像やベクタデータの表示方法」



🗁 から、 下記ファイル形式を直接読む込み、 表示・編集ができます。

<u>専用ラスタ画像フォーマットXDM</u>、BMP、JPEG、JPEG2000、GeoTiff、Tiff、MrSID、DTED、 NITF、CIB、CADRG、専用ベクタフォーマットXVC、Shape、DXF、DGN、KML

基本は、PG-STEAMERの専用フォーマットであるXDMを利用します。最も高速で扱えます。

B:「各ウィンドウの名称と役割」



C:「各ウィンドウは、自由にサイズ変更や表示非表示ができます」



・ドラック&ドロップで、サイズ変更。

・左上×印で非表示。・

💼 🔂 🗖 で再表示。

D:「拡大・縮小、スライド移動、リセット」

- **ビュー**の画像上で、マウスのローラーを回すと拡大縮小できます。 手前 = 拡大・奥 = 縮小。
- ・ **ビュー**の画像上で、右ボタンを押しながら動かすと、スライドできます。
- ・同様に、 🔍 🔦 からも拡大・縮小でき、 🌅 で現在のウィンドウ内に収まる大きさに自動調整します。
- ・ 🔍 ではマウスで囲んだエリアに拡大、 🔍 で元に戻すことができます。 セットで使うと便利です。
 - | ~ では、ウィンドウサイズと画像が1:1の均等サイズに調整します。

E:「複数の画像やベクタデータを多重表示できます」



解像度と地域の異なる4枚の画像の多重表示例



衛星画像、ベクタデータ、DEMの多重表示例

F:「多重表示した画像を表示・非表示できます」



G:「多重表示した画像レイヤーの順番を変更できます」



H:「多重表示した画像レイヤーの半透明化」

・半透明化したいレイヤーを右クリックし、"Transparency"を選択。 バーを右にスライドして透明度を調整して、"OK"ボタン。



1:「表示した画像とレイヤーの削除」



🎒 Image Composer - [View1]

- J:「表示バンドの変更」
 - ・複数のバンドをもつ画像の場合、表示したいバンドを選択できます。



ピューのファイル名をダブルクリックし、内装バンドを表示。バンドを選択し、 **ピュー**へスライド。 "Select Composite Type"ダイアログで"OK"。表示が切り替わります。

K:「バンド合成」

•

・複数のバンドをもつ画像の場合、バンドを組み合わせたRGB・HSI表示ができます。

🎯 Image Composer – [View	1]	
🚵 <u>F</u> ile <u>W</u> indow Tools <u>H</u> elp		×
🔳 🗳 R 🖬 🖪 🖬 🖬		Q 🖳 🔍 🚮
File Manager Bar		
daejon_komsat.xd	Select Composite Type	CEL - 1
Band?		
Band3	C Gray	
Composite Manager Bar [View1]	Band selection	
⊡ • Ç⊒ RGB #4	R Randi w	
⊡ 5 ⊡ Gray #1		2426
Projection : UTM (Zone 52 North) Datum : WGS-84	B Band3	
Scroll Manager Bar		
		的目标
Ready	353085.8041, 4032979.0230	

ビューのファイル名をそのまま **ビュー**へスライド。"Select Composite Type"ダイアログで、 "RGB"を選択し、各バンドをRGBに振り分けて、"OK"。表示が切り替わります。